

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(日本史B) 年間指導計画

教科:(地歴)科目:(日本史B) 単位:(3)単位 対象:(第 3学年 1組~3組)

使用教科書 : 実教出版 日本史B 新訂版

	指導内容	科目・(日本史B) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	開国と幕末の動乱	幕藩体制について理解させる。欧米の脅威の中で幕府として諸藩がどのように行動したのか、考えさせる。列強の接近が幕府を中心とした国内体制を脅かしたことを知る。	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識・発問	5
	開国と幕末の動乱	欧米の脅威の中で幕府として諸藩、志士がどのように行動したのか、考えさせる。近代国家模索のプロセスを理解させる。	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識・発問	6
5月	明治維新と富国強兵	開国と幕府の滅亡(戊辰戦争)の経緯、廃藩置県、徴兵制など近代化政策について理解させる。	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識・発問	6
	明治維新と富国強兵	明治国家体制への反動、修正としての不平土族、自由民権運動の展開を学習する。政府内の抗争も抑える。	意欲・関心 ノート提出・授業参加度 知識・学期テスト	6
6月	立憲国家の成立と日清戦争	明治憲法、条約改正、日清戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移に着目して立憲国家としての展開について学習する	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識・発問	8
	立憲国家の成立と日清戦争	日露戦争、韓国併合など日本の対外進出の過程を理解し、あわせて国際社会のうごきを把握する。	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識・発問	8
7月	立憲国家の成立と日清戦争	同上。テーマ学習として「伊藤博文と安重根」の対比を行う	意欲・関心 ノート提出・授業参加度 知識・学期テスト	6
8月		夏季休業中に希望者に古代~近世史の補講を行う		
9月	政党政治の発展と大衆社会の形成	政党や社会運動の動向、都市の発達などに着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色と成立の背景について学習する。	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識 発問	6
	第一次世界大戦と日本	国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移(対華21か条要求)や大戦が与えた影響について学習する。	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識・発問	6
10月	第一次世界大戦と日本	ベルサイユ条約(ベルサイユ体制)やアジアの民族自決運動という国際社会の中の動きを理解させる。	意欲・関心 ノート提出・授業参加度 知識・学期テスト	8
	恐慌の時代	大戦景気~大震災、金融恐慌という経済の動きと、政党政治の流れを並行して理解させる。日本が選んだ進路とその手法について考えさせる。	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識・発問	8
11月	軍部の台頭	満州事変から日中戦争への流れを理解させる。国内的には、テロとクーデターによる国家改造運動の流れと影響を理解させる。	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識・発問	6
	第二次世界大戦	統制経済、国体明徴声明、国家総動員法、国民精神総動員運動など「総力戦体制」構築の過程と国民生活の様子を理解させる。第二次大戦への道程を学ぶ。	意欲・関心 ワークシート・授業参加度 知識・発問	6
12月	第二次世界大戦	戦局の流れを理解させる。国民生活、大東亜共栄圏の実態についても理解させる。	意欲・関心 ノート提出・授業参加度 知識・学期テスト	8
1月	第二次世界大戦	戦局の流れを理解させる。国民生活、大東亜共栄圏の実態についても理解させる。	意欲・関心 ノート提出・授業参加度 知識・学期テスト	4
2月	第二次世界大戦	1945年8月の動きを理解させる(終戦工作、ポツダム宣言受諾の過程)。占領と改革について学ぶ。	意欲・関心 ノート提出・授業参加度 知識・学期テスト	5
3月	第二次世界大戦	1945年8月の動きを理解させる(終戦工作、ポツダム宣言受諾の過程)。占領と改革について学ぶ。	意欲・関心 ノート提出・授業参加度 知識・学期テスト	3

都立野津田高等学校 令和3年度 教科(地歴公民) 科目(日本史A) 年間授業計画

教科 : (地歴公民) 科目 : (日本史A) 単位数 : (2) 単位

対象学年組 : 第3学年 4組~6組

使用教科書 : 山川出版 改訂版 日本史A

	指導内容	科目(日本史A)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	開国	オリエンテーションと日本近世史概略の説明 帝国主義について。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	3
5月	開国	開国と幕末の動乱について、開国に至るまでの過程とその影響について学ぶ、幕末の政局の展開を諸外国との関連を重視して生徒の理解を深めさせる。		4
5月	明治維新	幕府側、倒幕側などさまざまな立場と、人物の動きをICTなどをつかい、わかりやすく説明する。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	4
6月	明治維新	版籍奉還・廃藩置県によって封建的な制度が解体され、統一国家が形成された経緯について学習する。開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米文化・思想の影響や国際環境の変化などに着目して近代化について学習する。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	6
6月	明治維新	政府内部の権力争いや不平士族の反乱、自由民権運動などの意味と流れを学ぶ	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	6
7月	明治政府の政策	政府による憲法制定作業、初期議会から桂園時代の開幕に至るまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の抗争の視点から理解する。条約改正、日清戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移に着目して立憲国家としての展開について学習する。自由民権運動と立憲体制の成立に着目して国民国家体制への変容過程を学習する。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	6
8月	明治政府の政策	政府による憲法制定作業、初期議会から桂園時代の開幕に至るまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の抗争の視点から理解する。条約改正、日清戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移に着目して立憲国家としての展開について学習する。自由民権運動と立憲体制の成立に着目して国民国家体制への変容過程を学習する。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	5
9月	明治期の外交と政治	日清日露戦争後の社会の変遷について学び、戦争の原因と結果を学ぶ。条約改正、日露戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移に着目して立憲国家としての展開について学習する。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	4
10月	昭和の恐慌と満州事変	日清日露戦争後の社会の変遷について学び、特に日露戦争のロシアの事実上の敗北がその後のヨーロッパの国際関係に大きく影響を及ぼしたことを理解するとともに、日露戦争以降日米関係が悪化した要因について理解を深めさせる。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	4
11月	第二次世界大戦と日本	恐慌の発生により政党内閣がどのような過程で崩壊したか、満州事変の発生など中国侵略がどのように本格化し、それが国際社会の中で日本が孤立することとなったことを理解する。中国問題の深刻化という状況で日中戦争が勃発し、日中間題の深刻化がやがて日米対立に発展していったことを理解する。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	4
12月	第二次世界大戦と日本	国民生活や思想・文化・出版などの各方面にわたる国家統制の強化を具体的な事例に即して理解する。対米開戦へと突き進んだことについて時代的背景や経済的背景など総合的に理解・考察する。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	4
1月	第二次世界大戦と日本	日本の加害と被害をアジアを視野に理解させる。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	4
2月	第二次世界大戦と日本	沖繩戦や原爆投下など戦争の惨禍について具体的な事例について理解を深めるとともに、戦争により国民生活全般が崩壊したことを知る。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	4
3月	第二次世界大戦後の世界	日本が拡大させた戦争の経緯を国際的な視野の中で考えさせ、第二次世界大戦の歴史的意義を理解させる。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	4
4月	第二次世界大戦後の世界	日本の無条件降伏と占領。連合国の同床異夢と冷戦への道を理解させる。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	2
5月	第二次世界大戦後の世界	日本の無条件降伏と占領。連合国の同床異夢と冷戦への道を理解させる。	関心・意欲 授業参加態度、 発問、ノート提出 知識・理解 定期考査	2

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(日本史B) 年間指導計画

教科:(地歴)科目:(必修選択日本史B) 対象:(第3学年)

使用教科書 : 実教出版 日本史B 新訂版

	指導内容	科目・(必修選択日本史B)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	日本文化の黎明と古代国家の形成	旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。		6
5月	古代国家の推移と社会の変化	東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽(ほうが)について考察させる。	歴史に対する興味関心をより深め、歴史的思考力を養うことを目標とする。 意欲・関心の評価についてはワークシートやノート提出(ノート記入状況)や生徒たちの発言(こちらへの質問)などで確認する。 教師側の発問の仕方をいくつか工夫し、①知識が定着しているか、②歴史的思考力をつかって答えているか、③興味関心がふかまっているかなどをチェックする。 定期考査にあわせてテストを行い、知識の到達度をみる。	8
6月	中世国家の形成	元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその	評価は必修修の日本史B(3単位)との合算になる。	8
7月	中世社会の展開	日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。		8
8月		夏季休業中に希望者には古代史～近世史、及びテーマ史の補講を行う。		
9月	近世国家の形成	ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。		6
10月	産業経済の発展と幕藩体制の変容	幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。	歴史に対する興味関心をより深め、歴史的思考力を養うことを目標とする。 意欲・関心の評価についてはワークシートやノート提出(ノート記入状況)や生徒たちの発言(こちらへの質問)などで確認する。 教師側の発問の仕方をいくつか工夫し、①知識が定着しているか、②歴史的思考力をつかって答えているか、③興味関心がふかまっているかなどをチェックする。 定期考査にあわせてテストを行い、知識の到達度をみる。	8
11月	明治維新と立憲体制の成立	開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。		8
12月	国際関係の推移と立憲国家の展開	条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。	評価は必修修の日本史B(3単位)との合算になる。	8
1月	政党政治の発展と大衆社会の形成	政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。	歴史に対する興味関心をより深め、歴史的思考力を養うことを目標とする。 意欲・関心の評価についてはワークシートやノート提出(ノート記入状況)や生徒たちの発言(こちらへの質問)などで確認する。 教師側の発問の仕方をいくつか工夫し、①知識が定着しているか、②歴史的思考力をつかって答えているか、③興味関心がふかまっているかなどをチェックする。 定期考査にあわせてテストを行い、知識の到達度をみる。	4
2月	第一次世界大戦と日本の経済・社会	国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。		4
3月	現代日本の政治と国際社会	占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。	評価は必修修の日本史B(3単位)との合算になる。	2

都立野津田高等学校 令和3年度 教科(公民) 科目(政治・経済) 年間授業計画

教科: (公民科) 科目: (政治・経済) 単位数: (2) 単位

対象学年組: 第 3 学年 1組～3組、5組、6組

使用教科書: 最新政治・経済 (実教出版)

使用教材: なし

	指導内容	科目(政治・経済)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	民主政治の基本原則	民主政治の基本原則について理解する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	3
	日本国憲法と基本的性格	日本国憲法と民主政治の諸原理と関連させて理解する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	5
5 月	基本的人権の保障	国民の基本的人権と国家の基本的な制度的な枠組みを定めた最高法規として憲法があることを理解する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	5
	平和主義	平和と安全の確保が、人類福祉を実現する上で欠くことのできないものであることに気付かせる。また、日本国憲法の平和主義の理解の上を立てて我が国の安全保障と防衛について理解を深めさせる。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	5
6 月	日本の政治機構	日本国憲法の下で、それらの政治制度や政治機構がどのような理由で設けられたか、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	5
	現代日本の政治	現代日本の政治の特質と世界各国の政治原理について比較する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	5
7 月	現代の国際政治	国際社会における日本の役割を理解する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	4
8 月				
9 月	経済社会の変容	経済活動について理解し、経済のグローバル化について考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	4
	現代経済のしくみ	国民経済における家計、企業、政府の役割について理解する。市場経済の機能と限界について理解する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	4
10 月	金融のしくみ	金融のしくみについて、金融の役割と国民経済との関連について考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	5
	財政のしくみ	財政のしくみについて理解し、現代経済の課題について考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	5
11 月	社会保障の役割	社会保障の役割について理解する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	5
	労使関係と労働条件の改善	現代社会の労使関係や労働条件について理解し、今後の課題について考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	3
12 月	格差社会と貧困	様々な経済格差について歴史的背景を理解し、飢餓や貧困に苦しむ国々の人々の暮らしを見ることで、国際経済格差問題の是正について、多角的に多面的に考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	3
1 月	世界経済と日本	貿易や金融のグローバル化、第二次世界大戦後の国際経済を概観し、考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	2
	経済協力と人間開発の課題	地域経済統合の進展や、日本が国際社会で果たすべき役割について考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	1
2 月	地球環境の保全と経済成長	環境保護と開発といった視点、国際社会の県境保全に対する取り組みについて多角的に考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	2
	地球環境と資源・エネルギー問題	原子力の課題および、再生可能エネルギーの普及への課題について考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	2
3 月	国際社会における日本の役割	日本国としての支援のみならず、市民やNGOなど、幅広い日本の役割について考察する。	自ら取り組んでいるかについて 調査、ノート点、提出物等によって総合的な評価を行う。	2

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：（ 地理・歴史科 ） 科目：（ 世界史B ） 単位数：（ 2 ） 単位

対象学年組：第3学年 1組～ 3組

使用教科書：新詳世界史B（帝国書院）

	指導内容	科目（ 世界史B ）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	世界市場の形成と日本	世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質とその中での日本の位置付けを理解させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	6
5月	世界市場の形成と日本 資料からよみとく歴史の世界	世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質とその中での日本の位置付けを理解させる。 主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	6
6月	資料からよみとく歴史の世界 帝国主義と社会の変容	主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。 科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	8
7月	帝国主義と社会の変容	科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	6
8月				
9月	帝国主義と社会の変容	科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	6
10月	二つの世界大戦と大衆社会の出現	総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	8
11月	二つの世界大戦と大衆社会の出現	総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	8
12月	米ソ冷戦と第三世界	米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	6
1月	米ソ冷戦と第三世界	米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	6
2月	グローバル化した世界と日本	市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	6
3月	資料を活用して探究する地球世界の課題	地球世界の課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、資料を活用し表現する技能を習得させるとともに、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協同し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	4